

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 下田市における汚水処理施設の整備及び維持管理重点計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとってわかりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○



社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年11月07日

計画の名称	下田市における汚水処理施設の整備及び維持管理重点計画												
計画の期間	令和06年度 ~ 令和10年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	下田市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>下田市下水道事業計画区域内の汚水処理整備を行い下水道の普及を促進することで、市民の安全・快適な生活環境の維持向上を図る。</li> <li>官民連携方式により持続的かつ効率的な下水道施設維持管理の導入可能性について検討を行うもの。</li> </ul>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	260	A	260	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R7当初	R9末	R11末
1	下水道処理人口普及率を43%(R7)から45%(R11)に増加する。			
	下水道処理人口普及率 処理区域内人口(人)/行政区域内人口(人)×100	43%	44%	45%
2	WPPPの導入可能性を検討し持続的かつ効率的な維持管理を行う。			
	WPPPの導入 計画策定の有無	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R06	R07	R08	R09	R10			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
水道・下水道事業	A07-001	下水道	一般	下田市	直接	下田市	管渠(汚水)	新設	下田処理区管渠整備(汚水管)(未普及解消)	汚水管 200 L=1,500m、測量設計業務 一式	下田市						230	-	
	A07-002	下水道	一般	下田市	直接	下田市	-	-	下田市における下水道施設の維持管理計画	WPPP策定業務	下田市						30	-	
												小計						260	
												合計						260	